

今夏の節電のお願い(オフィス等の皆様)

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。事業者の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただきとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、節電の取組みに当たっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。

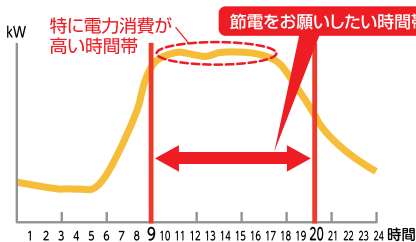
今夏の節電目標等

- ・目標：平成22年度夏季使用最大電力を基準に15%以上の節電
- ・期間：7月2日(月)から9月7日(金)までの平日(8月13日～15日を除く)
- ・時間：9時から20時まで
- ・加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝(7時～9時)や夜(20時～25時)に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力の抑制を要請する。

電力消費の特徴

【1日の電気の使用量少く夏期のピーク日】

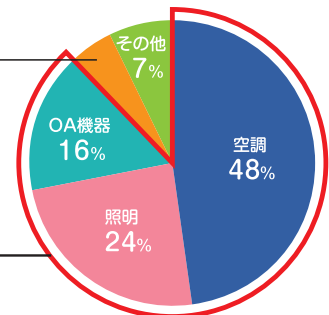
例えば、一般的なオフィスビルにおいては、日中(9時～17時)に高い消費電力が続きます。



【電力消費の内訳<夏期のピーク時断面>】

ピーク時の電力消費のうち、エレベーター5%、空調が約48%、照明及びOA機器(パソコン、コピー機等)が約40%を占めます。

空調、照明、OA機器で約88%



出典：資源エネルギー庁推計

節電の取組みについては、空調・照明・OA機器の電力使用の工夫をご検討願います。

節電取組み方法例

下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。

【効果的な節電項目】

照明 (非常用除く)	室内の照明を半分程度間引き(冷房負荷低減効果もあります)
	使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯
空調 (電気式の場合)	室内温度を28℃に設定
	使用していないエリアの空調を停止
OA機器	待機電力の抑制のために可能な範囲で、不使用機器のコンセントを抜く ●長時間使用しない時(外出・出張)は、OA機器の電源をOFF。もしくは、省エネモードに設定願います。

建物全体に対する節電効果(試算)

13%	(例：800ルクス→400ルクス)
3%未満	
4%	(例：26℃→28℃)
2%	
3%	

※節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
※一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

上記の節電項目に合わせて以下の取組みをご検討いただければ、さらに効果的です。

空調	●日射を遮るブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用し、室内温度の上昇を抑制 ●室外機周辺の障害物を取り除くとともに、すだれ等を活用し、直射日光を避ける ●空調機のメンテナンスや設定変更 他
照明・コンセント・動力	●昼休みや休憩時間の消灯を実施 ●高効率蛍光灯やLED照明への交換 ●エレベーターやエスカレーターの稼働を停止もしくは半減 ●洗面台等の下にある電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアアオル等のプラグをコンセントから抜く 他
その他	●デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施 ●自家発電設備(常用)の活用 他

出典：経済産業省 夏の節電メニューより抜粋

電力不足がいよいよ深刻になった場合は・・・

日頃からの皆様の節電のご努力によっても、なお、電力不足が深刻となる(電気の使用率が97%を超過する)場合は、テレビやラジオ、メール等で、一層の節電の呼びかけを行います。

停電が起こらないよう、電力不足が深刻となる時間帯には、照明の一斉消灯、エアコン、パソコン、コピー機の一時停止など、一層の対応をお願いします。

関西電力(株)では、でんき予報のほか、詳細な節電方法や、需給調整にかかる料金メニューなどに関する情報を、ホームページに掲載しています。
関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>